

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	11 自然を愛し共生する新遠野郷づくり			交付対象	遠野市												
計画の期間	平成22年度～平成26年度(5年間)																
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																
計画の成果目標(定量的指標)	①下水道処理人口普及率を40%(H22)から42%(H26)に増加させる。																
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="width:60%; vertical-align: top;">① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)÷総人口(人)</td> <td colspan="3" style="text-align:center;">定量的指標の現況値及び目標値</td> <td rowspan="3" style="width:10%; text-align:center;">備考</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">当初現況値 (H22当初)</td> <td style="text-align:center;">中間目標値 (H24末)</td> <td style="text-align:center;">最終目標値 (H26末)</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">40%</td> <td style="text-align:center;">41%</td> <td style="text-align:center;">42%</td> </tr> </table>						① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)÷総人口(人)	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	40%	41%	42%
① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)÷総人口(人)	定量的指標の現況値及び目標値			備考													
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)														
	40%	41%	42%														
全体事業費	合計 (A+B+C)	217百万円 194百万円	A	190百万円 176百万円	B	0百万円 0百万円	C	27百万円 18百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	上段:計画 下段:実施	12.4% 9.3%						
事後評価																	
○事後評価の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期											
社会資本総合整備計画審査会にて事後評価を実施						平成28年3月											
						公表の方法											
						遠野市ホームページにて公表											
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A 下水道 上段:計画 下段:実施																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
遠野処理区																	
11-A1-1-1	下水道	過疎	遠野市	直接	-	污水管	新設	東館幹線、白岩幹線(未普及解消)	L=4.5km L=4.2km	遠野市						160	
11-A1-1-2	下水道	過疎	遠野市	直接	-	処理場	新設	遠野浄化センター	汚泥脱水軸増設 汚泥脱水軸増設	遠野市						30	
合計																190	
合計																176	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考
C 効果促進事業 上段:計画 下段:実施																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
11-C-1-1	下水道	過疎	遠野市	直接	-	污水管	新設	東館幹線、白岩幹線(未普及解消)	末端管渠補助 L=1.5km 末端管渠補助 L=1.1km	遠野市						27	
合計																27	
合計																18	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考
11-C-1-1	基幹事業である幹線(11-A1-1-1)と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、普及率の向上に寄与する。																

その他関連する事業										
計画等の名称		安心・安全な居住環境づくり (防災・安全)						上段：計画		下段：実施
事業種別	交付対象	要素となる事業名 (事業箇所)				市町村名	全体事業費 (百万円)	備考		
II-A1'-1-2	下水道	遠野市		遠野浄化センター		遠野市	30	防安移行先		
全体事業費		合計 (A'+B'+C')	30百万円	△'	30百万円	B'	0百万円	C'	0百万円	
			26百万円		26百万円		0百万円	0百万円	10.9%	
							0百万円	0百万円	(C+C')/((A+A')+(B+B')+(C+C'))	
									8.2%	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 汚水管整備を行うことにより水洗化を促進させることが出来た。 下水道処理人口普及率を40% (H22) から42% (H26) に増加させることが出来た。 		
II 定量的指標の達成状況	指標① (下水道 処理人口普及 率)	最終目標値	42.0%	目標値と実績値 に差が出た要因 行政人口が減少したため。
		最終実績値	42.7%	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 汚泥脱水軸増設を行ったことにより下水道整備に伴う処理汚泥量の増加に対応することができた。 		
3. 特記事項 (今後の方針等)				
<ul style="list-style-type: none"> 引続き各事業を進めることにより、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。 				

(参考様式3)(参考図面)

計画の名称	11 自然を愛し共生する新遠野郷づくり		交付対象	遠野市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)			

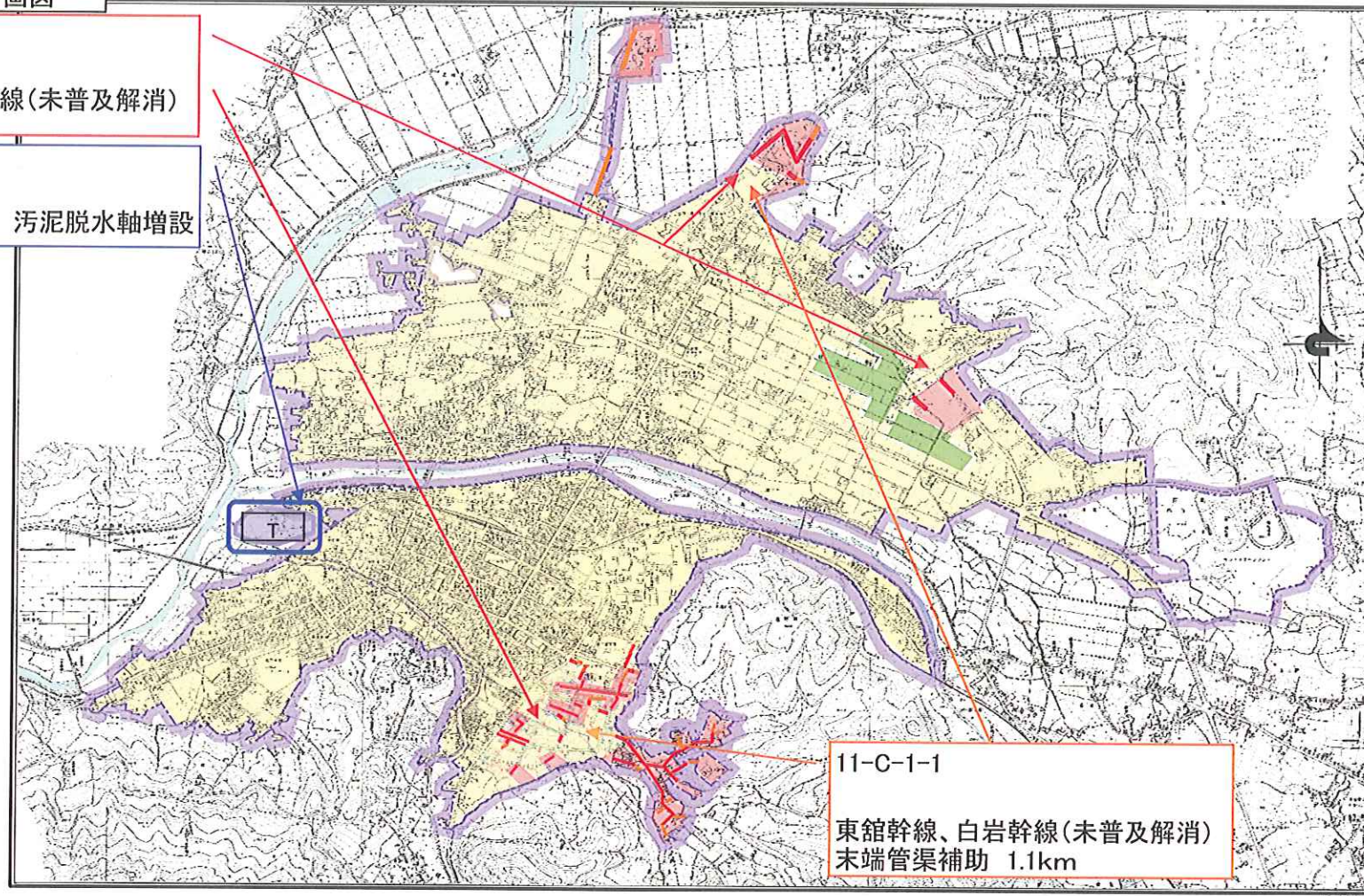
遠野処理区計画図

11-A1-1-1

東館幹線、白岩幹線(未普及解消)

11-A1-1-2

遠野浄化センター 汚泥脱水軸増設



11-C-1-1

東館幹線、白岩幹線(未普及解消)
末端管渠補助 1.1km

- 管路新設(赤)
- T 汚泥脱水軸増設
- 効果促進事業(橙)

- 下水道法による事業認可区域(整備予定区域)
- 既設幹線
- T 処理場
- ◀ 管渠整備